

令和7年度

所沢市立教育センター研究紀要

◎ 所沢市立教育センター事業について

I 実践研究

II 専門研究

埼玉県所沢市立教育センター

あいさつ

所沢市立教育センター
所長 大庭 真紀子

所沢市立教育センターの研究員制度は、昭和47年度に始まり、令和7年度で54年目を迎える伝統ある制度です。教育センター研究員は、発足当初より、その時代の教育課題に対応し、理論と実践に基づいた先進的な研究を推進してきました。

現在は、予測困難な未来社会を自ら切り拓くための「生きる力」を子どもたちに確実に育むことが求められております。各学校におかれましては、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して、子どもたちの知・徳・体をバランスよく伸ばし、子どもたちが豊かな人生と持続可能な社会を自ら創り出せるよう、日々研鑽に努めていることと存じます。本研究員は、その一助となるよう、学校現場の最前線で実践に取り組み、本市の教育力の向上に尽力してまいりました。

「実践研究部」では、「令和の日本型学校教育」を共通テーマとして、研究2年目となる国語科、外国語活動・外国語科、体育科、特別活動の4研究部が、研究のまとめに取り組みました。指導者として、東京学芸大学 西村 德行 教授を招聘し、令和6年度から2年間にわたり、具体的かつ分かりやすい御指導をいただきました。

「専門研究部」では、教科等において、より専門性の高い研究を目指し、大学教授等から指導を受け、算数・数学科、体育科、特別活動の3研究部が研究に取り組みました。十文字学園女子大学 日出間 均 教授、埼玉大学 石川 泰成 教授、玉川大学 川本 和孝 准教授におかれましては、各研究員の所属校まで御足労いただき、大変丁寧に御指導をいただきました。

「委託研究部」では、ESD調査研究協議会が「所沢のESD（持続可能な開発のための教育）の更なる普及」を課題として、先進的な調査・研究に取り組みました。指導者の学校法人湘南学園 住田 昌治 学園長には、令和3年度から5年間にわたり、地域とともに皆で未来を創るよう御指導をいただきました。

本研究紀要の発行を迎えるにあたり、御指導を賜りました指導者の皆様に心より御礼申し上げます。また、関係小・中学校の校長先生方をはじめ、市内教職員の皆様におかれましては、御多用にも関わらず、研究員の出張や研究授業の実施等に際し、御理解と御協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

最後に、研究員の皆さんには、情熱をもって真摯に研究に取り組み、研究成果をまとめられたことに敬意を表すとともに、本研究に際し、御理解・御協力をいただいた校長先生や教職員の皆様への感謝を忘れず、所属校に研究成果を還元するよう大いに期待します。

以上、本研究に関わる全ての皆様に感謝申し上げ、教育センター所長からのあいさつとさせていただきます。

令和8年3月

令和7年度 所沢市立教育センター研究紀要 目次

目次

○ 教育センター事業	1
Ⅰ 実践研究	
1 国語科 実践研究部 「子供が必然性をもって取り組む国語の授業づくり」	7
2 外国語活動・外国語科 実践研究部 「小中の学習の連携を図り、言語活動を通じた指導の研究」	12
3 特別活動 実践研究部 「主体的に参画し、友達の思いに寄り添う児童主役の学級活動」	17
4 体育科 実践研究部 「体育科における、個別最適な学びと協働的な学びの実現」	22
Ⅱ 専門研究	
1 算数・数学科 専門研究部 「算数科における個別最適な学びと協働的な学びをつなぐ授業づくり」	27
2 体育科 専門研究部 「子どもと教師がともに創る体育授業の創造～関係の中で育つ児童を目指して～」	39
3 特別活動 専門研究部 「自分たちでより楽しく充実した学校生活を築こうとする児童の育成」	51

◎所沢市立教育センター事業について

教育センター事業 Good Practice!

- 令和7年度 所沢市立教育センター
事業の概要一覧

教育課題に対応した学力向上推進事業

資質向上事業

教育相談事業

I C T教育事業

社会教育事業

◆ 調査・研究

☺ 心のエネルギープロジェクト

担当 主幹兼副所長

高鍋 英彦

令和7年度 所沢市立教育センター 事業の概要一覧

所沢市立教育センター 基本理念

教師一人一人が力をつけ、学校力を高め、子どもの生き抜く力を育む

学校力とは、「授業力」「学級経営力」それを支える「子どもへの愛情と理解」「組織力」

所沢市の教育の基本理念

みんなが持っている“3つの宝”を
振り起こして大きく育てます

- 心身のたくましさ
- 未来を拓く知恵
- ふるさと所沢を愛する心

I 教育課題に対応した 学力向上推進事業

- <学校力>向上プログラム
 - ▶ 主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業づくり研修会（藤井）
 - ▶ わかる授業づくり研修会（藤井）
 - ▶ 道徳科授業づくり研修会（高島）
 - ▶ 特別活動授業づくり研修会（石坂）
 - ▶ ICTを活用した授業づくり研修会（森谷）
 - ▶ 県学調を活用した国語科授業づくり研修会（石坂）
 - ▶ 県学調を活用した算数・数学科授業づくり研修会（清水）
 - ▶ ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり研修会（清水）
- 教科等指導力向上研修
 - ▶ 豊かな心育成研修会
[道徳] [人権] [特別活動]
（高島・藤井・石坂）
 - ▶ 小学校理科実験LABO（石坂）
 - ▶ TEA-Plan II 研修会（清水）
 - ▶ TEA-Plan II 英語授業づくりサポート（清水）
 - ▶ TOKOROZAWA English Summer Camp（清水）
- 小学校社会科副読本
 - ▶ 小学校社会科副読本作成委託（高島）

II 資質向上事業

- 経験者研修支援
 - ▶ 初任者研修（高島）
 - ▶ 初任者研修校内指導教員研修会（高島）
 - ▶ ステップ・アップ及びジャンプ・アップ研修（藤井）
 - ▶ 5年経験者研修（清水）
 - ▶ 中堅教諭等資質向上研修（藤井）
 - ▶ 20年経験者研修（高島）
- 資質向上研修
 - ▶ 新任・転入管理職研修会（高鍋）
 - ▶ 新採用・転入教職員研修会（石坂）
 - ▶ 学校組織マネジメント推進研修会（石坂）
 - ▶ 教務主任等研修会（石坂・森谷）
 - ▶ フレッシュマンセミナー（清水）
 - ▶ ミドルリーダー研修員研修（藤井）
 - ▶ 研究員合同研修会（清水）
 - ▶ 事務職員のためのマネジメント研修会【休上】
 - ▶ 特定研修推薦・研修指導者等推薦専門研修（高鍋）
 - ▶ 研修履歴の記録（石坂）
- 授業目的公衆送信補償金制度
 - ▶ 授業目的公衆送信補償金制度の活用（石坂）

III 教育相談事業

- 不登校解消・特別支援教育研修
 - ▶ 生徒指導・教育相談中級研修会（服部）
 - ▶ 不登校児童生徒への支援を学ぶ研修会（大森）
 - ▶ ゲートキーパー養成研修会
[心理] [医療]（大森・服部）
 - ▶ 気になる子への支援を学ぶ研修会
[基礎] [実践]（服部）

相談業務

- ▶ 面接相談、巡回相談（加藤・服部）
- ▶ 電話相談、子ども電話相談（加藤・服部）
- ▶ S S W活用（服部）
- ▶ 医療相談（服部）
- ▶ 相談室啓発活動（服部）
- ▶ 教育支援センター「クwest」（大森）
- ▶ トコロんカフェ「紡ぎ」（岡田香）

IV ICT推進事業

- ICT教育推進研修
 - ▶ ICT活用研修会（長谷川）
 - ▶ ICT教育推進リーダー研修会（森谷）
 - ▶ 情報モラル研修会（長谷川）
 - ▶ 情報セキュリティ研修会（山本）
 - ▶ 中学校プログラミング教育研修会（森谷）
 - ▶ デジタル教科書活用研修会（長谷川）
 - ▶ 学校ホームページ活用研修会（森谷）
- 教育ネットワーク
 - ▶ 教育ネットワーク運用・維持・管理（森谷）
 - ▶ ホームページ等維持・管理（森谷）
 - ▶ 校務用コンピュータに関する年度更新（酒井）
 - ▶ 学習者用コンピュータ（Chromebook）に関する年度更新（森谷）
 - ▶ 学習者用コンピュータ（Chromebook）更新（森谷）
 - ▶ デジタル教科書更新（コンテンツ配信サービス）（山本）
 - ▶ 学級数増加に伴うICT環境整備（山本）
 - ▶ コンピュータ等管理台帳電子化（酒井）
 - ▶ 教育情報セキュリティポリシー（酒井）

V 社会教育事業

- ▶ 16mmフィルム視聴覚機器整備貸出（磯）
- ▶ 教科書センター運営管理（高鍋）

心のエネルギー プロジェクト（服部）

- ① 子どもたち一人一人は、かけがえのない存在であり、誰もが夢や希望を持てるようにしたい。
- ② 自分も友だちも大切にしてほしい。

という思いから、今年度も「自己肯定感」を育む取組を継続していきます。

TEA-Plan II

「所沢市外国語教育推進プラン」

小中学校7年間で英語によるコミュニケーション能力を育成し、グローバル化社会をたくましく生き抜く児童生徒の育成を目指します。

【令和9年度までの目標】
英検3級相当の英語力をもつ中学3年生の割合 **80%**

▶ トコロん学力向上プロジェクト関連

▶ 心のエネルギープロジェクト

▶ TEA-Plan II（英語教育）関係

学校支援

- ▶ センター講師派遣（高鍋）
- ▶ T 英語指導助手派遣（清水）
- ▶ T 小学校外国語支援員派遣（清水）
- ▶ 日本語サポーター派遣（高島）
- ▶ キャリア教育プログラム（高鍋）
- ▶ 英語学習DVD維持管理
- ▶ 小学校外国語支援員派遣
- ▶ 校内研修等指導者派遣（高鍋）
- ▶ 教育資料収集、管理、提供（藤井）

早稲田大学研究連携

調査・研究

- ▶ 専門研究部（高島）（算数・数学、体育、特別活動）
- ▶ 副読本「ところざわ」及び白地図等編集研究協議会（高島）
- ▶ ESD(持続可能な開発のための教育)調査研究協議会（石坂）
- ▶ 全国学力・学習状況調査(実施・分析)（高島）
- ▶ 埼玉県学力・学習調査(実施・分析)（藤井）
- ▶ 実践研究部（清水）
（国語、体育、外国語活動・外国語、道徳、特別活動、特別支援教育）
- ▶ 学校事務研究部【休上】
- ▶ 市長期研修教員等研究会・発表会（石坂）
- ▶ 教育相談校内研修支援（大森）
- ▶ 教育相談アドバイザー支援（岡田香）
- ▶ 教育相談部会運営支援（岡田香）
- ▶ 小1スタート支援（大森）
- ▶ 生徒指導・教育相談支援（大森）
- ▶ ICT支援（酒井）
- ▶ これからのコンピュータネットワーク調査活用研究協議会（長谷川）
- ▶ ICT活用と効果に関する調査（酒井）
- ▶ 学校における教育の情報化の実態等に関する調査（酒井）



教育課題に対応した学力向上推進事業

1 本年度の重点

- (1)学校力の向上
- (2)社会の変化に対応した支援



2 好事例

- ・学校力の向上では、指導者を派遣する1回目の校内研修を指導主事が伴走支援したことで、各校の研究の方向性を明確にすることができた。
- ・学校力向上プログラムの研修会ポスターを作成・配付を行い、研究校の取組を市内に周知することができた。
- ・2年目となった「TOKOROZAWA English Summer Camp」は、昨年度よりも大幅に参加者数を増やすことができ、小・中学生共に100%の満足度を得ることができた。

資質向上事業

1 本年度の重点

- (1)年次研修の確実な実施
- (2)資質向上研修の充実
- (3)研修会におけるGoogleアプリケーション等を活用した運営の促進



2 好事例

- ・「研究員中間報告会及び合同研修会②」にて、前年度専門研究員によるワークショップを実施した。研究成果の普及だけでなく、将来の所沢市の学校教育を支える指導者候補を育成することにも資する研修会となった。
- ・「フレッシュマンセミナー」では、昨年度を超える12人の教員に指導主事が訪問をした。対象者一人一人の困り感に寄り添い、親身になって指導・助言を行うことができた。

教育相談事業

1 本年度の重点

- (1) 不登校児童生徒の支援
- (2) 学校力の向上
- (3) 教育相談室の機能の向上



様々な立場の教職員が参加し「クエスト」の施設や取組について理解を深めていただく機会になりました。



2 好事例

- 教育支援センター「クエスト」教職員対象
見学&説明会 学校への周知と連携強化
- ところんカフェ「紡ぎ」
不登校児童生徒の保護者向けの会の開催
- 教育メタバース
不登校支援の拡充（居場所支援と学習保障）

不登校支援に関する情報提供とともに支援団体と保護者、保護者同士を「紡ぐ」会が開催できました



ICT推進事業

1 本年度の重点

- (1) 社会の変化を見据えた研究・研修の実施
- (2) 児童生徒一人一台端末の効果的な活用
- (3) 学校のニーズに応じたICT支援



2 好事例

- 校内におけるICT教育推進リーダーの育成
- 授業でのICT機器の効果的な活用を推進
- 市内小・中学校ホームページの更新支援



個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けたICTの活用事例

社会教育事業

1 本年度の重点

- (1) ニーズに応じた 16mm フィルム等の貸出の継続

2 好事例

- (1) 教育センターホームページに貸出方法、貸出目録を掲載し、利用しやすいようにしました。

約 650 本のフィルムの目録を閲覧できます



◆ 調査・研究

1 本年度の重点

- (1) 実践研究員から専門研究員へのステップアップを希望する研究員の増加
- (2) 研究発表会の参加人数の増加

2 好事例

- (1) 前年度、専門研究員によるワークショップ
- (2) 研究発表会のオンデマンド開催期間の拡大



🌸 心のエネルギープロジェクト

1 本年度の重点

- (1) 子どもたちの生き抜く力を育むための
すべての教職員の共通理解
- (2) 教師一人一人の自己肯定感をベースとした
授業力や学級経営力の向上



2 好事例

- ・家庭教育学級で、スクールカウンセラーによる
子どもの心についての講演会の実施
- ・子ども同士や子どもと先生とのいいところ見つけや、
お互いが嬉しくなるぽかぽか言葉集めの実施

